

北海道における感染症発生動向調査について（2019年）

Report of Infectious Diseases Surveillance in Hokkaido, 2019

市橋 大山 大久保和洋 山口 宏樹
後藤 明子 長野 秀樹

Daisen ICHIHASHI, Kazuhiro OKUBO, Hiroki YAMAGUCHI,
Akiko GOTO and Hideki NAGANO

Key words : infectious diseases surveillance (感染症発生動向調査); Hokkaido infectious diseases surveillance center (北海道感染症情報センター); national epidemiological surveillance of infectious disease (NESID、感染症サーベイランスシステム)

わが国では感染症の発生及びまん延を防止するため、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」(感染症法)に基づく施策として、感染症発生動向調査が行われている¹⁾。本調査事業では、患者を診断したすべての医師が届出を行う全数把握疾患(一～四類感染症、五類感染症の一部、新型インフルエンザ等感染症、指定感染症及び新感染症)及び指定された医療機関のみが届出を行う定点把握疾患(五類感染症の一部)を対象としている(表1-1、1-2)。

本稿では、2019年の北海道における全数及び定点把握疾患の患者届出状況をまとめたので報告する。

方 法

対象とする感染症情報は、感染症サーベイランスシステム(NESID)の中央データベースに登録されたデータを使用した。2019年の全数把握疾患は2019年第1週～第52

週に診断された患者等の届出、定点把握疾患(週報)は2019年第1週～52週の報告、定点把握疾患(月報)は2019年1月～12月の報告のデータを用いた。また、比較対象とした2018年以前のデータについては、全数把握疾患は2016年第1週～2018年第52週に診断された患者等の届出、定点把握疾患(週報)は2010年第1週～2018年第52週の報告、定点把握疾患(月報)は2016年1月～2018年12月の報告データを用いた。

集計・解析にはマイクロソフト社の「エクセル2013」に加えて、同社「アクセス」を基に当所で構築した「北海道感染症情報システム」及び「感染症データ分析ツール」²⁾を使用した。

結 果

1. 全数把握疾患

全数把握疾患の届出状況を表2-1～2-14に示した。

表1-1 感染症発生動向調査の対象疾患数

(2019年12月末現在)

	疾患数
一類感染症	7
二類感染症	7
三類感染症	5
四類感染症	44
五類感染症(全数把握)	24
五類感染症(定点把握)	25
新型インフルエンザ等感染症	2
指定感染症及び新感染症	0
合計	114

表1-2 感染症発生動向調査の定点数

(2019年12月末現在)

	対象疾患数	道内の定点数
(週単位)		
インフルエンザ定点	1	221
小児科定点	10	138
眼科定点	2	29
基幹定点	5	23
(月単位)		
性感染症定点	4	42
基幹定点	3	23
合計	25	476

1) 一類感染症

一類感染症の届出はなかった。

2) 二類感染症

結核で666人の届出があり、類型別では、患者384人、死亡者1人、疑似症患者18人、無症状病原体保有者263人(表2-2)、全届出中47人(患者15人、無症状病原体保有者32人)が医師、看護師等の医療従事者であった。

3) 三類感染症

三類感染症では、細菌性赤痢、腸チフス、腸管出血性大腸菌感染症の届出があった(表2-1)。

細菌性赤痢は8人の届出があり(表2-1)、国内での感染が推定されるものは5人(同一施設内での感染3人、家族内感染2人)、海外渡航歴があるものは3人であった。

腸チフスは2人の届出があり(表2-1)、1人は海外渡航歴が認められた。

腸管出血性大腸菌感染症は280人の届出があり、類型別

表2-1 全数把握疾患 届出数

分類	疾患名	2016年	2017年	2018年	2019年
二類	結核	748	695	683	666
三類	細菌性赤痢		3	15	8
	腸チフス		1	2	2
	腸管出血性大腸菌感染症	149	245	193	280
四類	E型肝炎	107	70	85	69
	A型肝炎	7	5	8	6
	エキノкокクス症	27	28	20	26
	回帰熱	5	5	6	7
	ダニ媒介脳炎	1	2	1	
	チクングニア熱			1	
	デング熱	2	3	2	11
	マラリア	2	1	1	
	ライム病	5	9	5	13
	レジオネラ症	41	44	37	65
	レプトスピラ症	2			
	五類	アメーバ赤痢	37	28	19
ウイルス性肝炎		6	8	13	5
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 ^{*4}		34	36	48	61
急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く) ^{*7}				2	1
急性脳炎 ^{*1}		33	30	16	33
クリプトスポリジウム症		3	10	7	7
クロイツフェルト・ヤコブ病		12	9	16	8
劇症型溶血性レンサ球菌感染症		17	12	18	40
後天性免疫不全症候群		42	34	29	39
ジアルジア症		1	1	3	3
侵襲性インフルエンザ菌感染症 ^{*3}		12	9	23	27
侵襲性髄膜炎菌感染症 ^{*3}		1		1	2
侵襲性肺炎球菌感染症 ^{*3}		108	101	107	134
水痘(入院例に限る) ^{*4}		12	15	18	21
梅毒		118	110	136	135
播種性クリプトкокクス症 ^{*4}		3	1	4	2
破傷風		6	8	12	9
バンコマイシン耐性腸球菌感染症		4	5	3	
百日咳 ^{*6}				256	554
風しん ^{*2}		1		29	43
麻しん ^{*2}	1	1	1	6	
薬剤耐性アシネトバクター感染症 ^{*5}			2	5	

*1: ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く

*2: 2008年1月1日より五類(定点把握対象)から五類(全数把握対象)に変更

*3: 2013年4月1日より髄膜炎菌性髄膜炎に替わり指定

*4: 2014年9月19日より追加指定

*5: 2011年2月1日より五類(定点把握対象)に追加指定、2014年9月19日に五類(全数把握対象)に変更

*6: 2018年1月1日より五類(定点把握対象)から五類(全数把握対象)に変更

*7: 2018年5月1日より追加指定

では、患者 189 人（67.5%）、無症状病原体保有者 91 人（32.5%）、年齢階級別では 1～9 歳の届出が最も多く（表 2-3）、1～87 歳の届出があった。O 血清群別の届出数では、O 157 が最も多く 118 人（患者 96 人、無症状病原体保有者 22 人）、次いで O 26 が 91 人（患者 63 人、無症状病原体保有者 28 人）であった（表 2-4）。溶血性尿毒症症候群患者は 5 人の届出があった（表 2-5）。

4) 四類感染症

四類感染症では、E 型肝炎、A 型肝炎、エキノкокクス症、回帰熱、デング熱、ライム病、レジオネラ症の届出があった（表 2-1）。

E 型肝炎は 69 人の届出があり、類型別では、患者 59 人、無症状病原体保有者 10 人、年齢階級別では 30 歳代以上の届出が多く（表 2-6）、19～85 歳の届出があった。なお、

表 2-2 結核 類型別届出数

類 型	2016年			2017年			2018年			2019年		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
患者	299	218	517	268	191	459	228	215	443	208	176	384
死亡者	3	2	5	3		3	2	4	6	1		1
疑似症患者	4	5	9	5	3	8	5	2	7	12	6	18
無症状病原体保有者	84	133	217	95	130	225	82	145	227	113	150	263
合 計	390	358	748	371	324	695	317	366	683	334	332	666

表 2-3 腸管出血性大腸菌感染症 類型別、年齢階級別届出数

類 型	2016年			2017年			2018年			2019年		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
患者	34	52	86	64	84	148	54	66	120	93	96	189
無症状病原体保有者	25	38	63	29	68	97	26	47	73	39	52	91
合 計	59	90	149	93	152	245	80	113	193	132	148	280
年齢階級												
0歳	1		1	1		1	1		1			
1～9歳	13	12	25	29	29	58	19	19	38	55	48	103
10～19歳	14	11	25	12	19	31	8	27	35	19	13	32
20～29歳	4	16	20	8	16	24	13	14	27	18	16	34
30～39歳	4	6	10	11	20	31	11	15	26	14	12	26
40～49歳	6	7	13	3	10	13	10	5	15	10	16	26
50～59歳	2	12	14	5	14	19	2	9	11	1	18	19
60～69歳	8	12	20	12	21	33	6	8	14	6	11	17
70歳以上	7	14	21	12	23	35	10	16	26	9	14	23

表 2-4 腸管出血性大腸菌感染症 O 血清群別届出数（2019 年）

O 血清群	届出数	
	患者	無症状病原体保有者
18	1	
25	1	
26	63	28
55	1	
74		1
91	1	8
103	5	2
111	8	1
128	2	6
145	4	4
146		2
157	96	22
165	1	
166		2
不明	6	15
合 計	189	91

表 2-5 溶血性尿毒症症候群患者（2019 年）

性別	年齢	O 血清群	毒素型
女	54	不明	不明
男	71	O 157	VT1VT2
女	87	O 157	VT1VT2
男	6	O 157	不明
男	8	O 157	VT1VT2

表2-6 E型肝炎 類型別、年齢階級別届出数

		2016年			2017年			2018年			2019年		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
類型	患者	61	14	75	43	17	60	59	17	76	44	15	59
	無症状病原体保有者	18	14	32	8	2	10	7	2	9	8	2	10
	合計	79	28	107	51	19	70	66	19	85	52	17	69
年齢階級	0歳												
	1～9歳												
	10～19歳	1		1				1	1		1		1
	20～29歳	6		6	4	1	5	4		4	2		2
	30～39歳	11	1	12	7	2	9	5		5	4	4	8
	40～49歳	21	3	24	6	3	9	7	5	12	10	3	13
	50～59歳	14	2	16	15	4	19	13	1	14	14	3	17
	60～69歳	16	3	19	15	4	19	19	4	23	10	4	14
	70歳以上	10	19	29	4	5	9	18	8	26	11	3	14
献血で判明と記載があったもの		7	1	8	5	1	6	1	1	2	2	1	3

表2-7 エキノコックス症 類型別、年齢階級別届出数

		2016年			2017年			2018年			2019年		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
類型	患者	11	12	23	11	15	26	9	10	19	11	13	24
	無症状病原体保有者	3	1	4	2		2		1	1	1	1	2
	合計	14	13	27	13	15	28	9	11	20	12	14	26
年齢階級	0歳												
	1～9歳												
	10～19歳												
	20～29歳								2	2	2		2
	30～39歳							1	1	2	1	1	2
	40～49歳	2	2	4		1	1	1		1	1		1
	50～59歳	3	1	4	3	2	5		2	2	1		1
	60～69歳	3	5	8	3	3	6	2	2	4	1	3	4
	70歳以上	6	5	11	7	9	16	5	4	9	6	10	16

表2-8 レジオネラ症 病型別、年齢階級別届出数

		2016年			2017年			2018年			2019年		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
病型	肺炎型	35	6	41	33	7	40	29	6	35	49	11	60
	ポンティアック熱型				2	2	4	2		2	3	2	5
	合計	35	6	41	35	9	44	31	6	37	52	13	65
年齢階級	0歳												
	1～9歳												
	10～19歳												
	20～29歳												
	30～39歳	1		1		1	1				2		2
	40～49歳					1	1	3		3	4		4
	50～59歳	7		7	5	2	7	5		5	7	1	8
	60～69歳	14	4	18	13		13	14		14	10	2	12
	70歳以上	13	2	15	17	5	22	9	6	15	29	10	39

表 2-9 急性脳炎 病原体別届出数

病原体	2016年	2017年	2018年	2019年
インフルエンザウイルス	11	5	6	16
ヘルペスウイルス	1	4	2	4
ロタウイルス		2		1
ヒトパレコウイルス	1	1		
RSウイルス	1			1
ノロウイルス	1			
水痘ウイルス	1	1		1
ヒトメタニューモウイルス			1	
病原体不明	17	17	7	10
合 計	33	30	16	33

表 2-10 急性脳炎 診断月、性別、年齢、病原体 (2019年)

診断月	性別	年齢	病原体
1月	男	19	インフルエンザウイルス A
	男	12	インフルエンザウイルス
2月	男	2	インフルエンザウイルス A
	女	8	インフルエンザウイルス A
	女	4	インフルエンザウイルス A
	男	6	インフルエンザウイルス A
3月	男	1	インフルエンザウイルス A
	男	9	インフルエンザウイルス B
4月	男	12	病原体不明
	女	4	病原体不明
5月	男	10	病原体不明
	男	10	病原体不明
6月	男	7	病原体不明
	女	5	ロタウイルス
7月	男	11	病原体不明
	男	74	単純ヘルペスウイルス
8月	男	19	病原体不明
	男	8	単純ヘルペスウイルス1型
9月	男	79	単純ヘルペスウイルス1型
	男	76	病原体不明
10月	男	1	インフルエンザウイルス A
	男	10	インフルエンザウイルス A
11月	女	1	病原体不明
	女	8	病原体不明
12月	女	8	インフルエンザウイルス A
	男	8	インフルエンザウイルス A
12月	男	71	水痘帯状疱疹ウイルス
	男	1	ヒトヘルペスウイルス6
12月	女	0	RSウイルス
	女	7	インフルエンザウイルス A
12月	男	1	インフルエンザウイルス A
	男	3	インフルエンザウイルス A
12月	男	10	インフルエンザウイルス A
	男	10	インフルエンザウイルス A

表 2-11 後天性免疫不全症候群 病型別、年齢階級別、推定感染地域別、国籍別、推定感染経路別届出数

	病型	2016年			2017年			2018年			2019年		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
病型	無症候性キャリア	18	1	19	18	1	19	20	1	21	23		23
	AIDS	19		19	15		15	8		8	11	1	12
	その他	4		4							4		4
	合 計	41	1	42	33	1	34	28	1	29	38	1	39
年齢階級	0歳												
	1～9歳												
	10～19歳				2		2				1		1
	20～29歳	13	1	14	6	1	7	9		9	14	1	15
	30～39歳	8		8	10		10	7		7	10		10
	40～49歳	12		12	14		14	9		9	12		12
	50～59歳	4		4	1		1	1	1	2			
60～69歳	4		4				2		2	1		1	
感染地域 (推定)	日本国内	37		37	32	1	33	25	1	26	33		33
	その他	2	1	3				2		2	3	1	4
	日本国内またはその他									1			1
国籍	不明	2		2	1		1	1		1	1		1
	日本	39		39	33	1	34	28	1	29	35	1	36
	その他	2	1	3							2		2
感染経路 (推定)	不明										1		1
	性行為感染 (同性間)	21		21	27		27	21		21	27		27
	性行為感染 (異性間)	14	1	15	5		5	4	1	5	6	1	7
	性行為感染 (同性間、異性間)	2		2				1		1			
	性行為感染 (同性間、異性間不明)	1		1									
	静注薬物使用											1	
不明	不明	3		3	1	1	2	2		2	5		5

表 2-12 侵襲性肺炎球菌感染症 年齢階級別届出数

年齢階級	2016年			2017年			2018年			2019年		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
0歳				3		3	1	5	6	5	5	10
1～9歳	12	5	17	6	11	17	14	5	19	13	3	16
10～19歳	1		1	1	1	2					1	1
20～29歳								1	1			
30～39歳		2	2	1	1	2	1		1		1	1
40～49歳	4	2	6	5	1	6	4	2	6		3	3
50～59歳	2	6	8	1	2	3	3	4	7	6	1	7
60～69歳	15	3	18	18	5	23	11	8	19	19	10	29
70歳以上	35	21	56	27	18	45	29	19	48	47	20	67
合 計	69	39	108	62	39	101	63	44	107	90	44	134

表 2-13 梅毒 病型別、年齢階級別、推定感染経路別届出数

	病型	2016年			2017年			2018年			2019年		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
	先天梅毒				1	1	2						
	早期顕症梅毒 (I 期)	23	3	26	22	11	33	36	7	43	35	8	43
	早期顕症梅毒 (II 期)	22	15	37	29	13	42	30	18	48	26	16	42
	晩期顕症梅毒	5	3	8	1		1		2	2	3		3
	無症状病原体保有者	25	22	47	12	20	32	18	25	43	21	26	47
	合 計	75	43	118	65	45	110	84	52	136	85	50	135
	年齢階級												
	0歳				1	1	2						
	1～9歳												
	10～19歳		2	5	7	3	6	9	1	5	6	1	5
	20～29歳		12	14	26	19	22	41	19	28	47	30	26
	30～39歳		21	11	32	11	2	13	23	9	32	21	7
	40～49歳		14	2	16	12	2	14	24	5	29	15	2
	50～59歳		6	1	7	9	2	11	8		8	11	
	60～69歳		12		12	4	2	6	4	1	5	3	2
	70歳以上		8	10	18	6	8	14	5	4	9	4	8
	推定感染経路 (重複を含む)												
	性行為感染 (同性間)	10	1	11	4		4	10		10	14	1	15
	性行為感染 (異性間)	40	29	69	43	27	70	52	36	88	45	32	77
	性行為感染 (同性間、異性間不明)	12	3	15	11	5	16	11	7	18	10	6	16
	母子感染				1	1	2						
	輸血							1		1			
	針等の鋭利なものの刺入			1	1	1	1	2					
	不明	14	9	23	6	11	17	10	8	18	14	11	25

表 2-14 風しん 年齢階級別届出数

年齢階級	2016年			2017年			2018年			2019年		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
0歳												
1～9歳							1		1		1	1
10～19歳							1	1	2		1	1
20～29歳							2	5	7	8	12	20
30～39歳							9	1	10	8	4	12
40～49歳		1	1				3	3	6	7	1	8
50～59歳							2		2			
60～69歳										1		1
70歳以上							1		1			
合 計		1	1				19	10	29	24	19	43

献血時の検査で罹患が判明した3人の届出があった。

エキノコックス症は26人の届出があり、性別は男性12人、女性14人、年齢階級別では70歳以上の届出が多く(表2-7)、23~90歳の届出があった。

回帰熱は7人の届出があり(表2-1)、2019年の国内における届出はすべて北海道からであった。感染地域(推定を含む)はすべて北海道であった。

ライム病は13人(国内17人)の届出があり(表2-1)、感染地域(推定を含む)は北海道12人、国外1人であった。

ダニ媒介脳炎は2016年から3年続けて届出があったが、2019年の届出はなかった(表2-1)。

デング熱は11人の届出があり(表2-1)、感染地域(推定を含む)はすべて国外であった。

レジオネラ症は65人の届出があり(表2-1)、性別は男性52人、女性13人、年齢階級別では70歳以上の届出が多く(表2-8)、32~96歳の届出があった。

5) 五類感染症

五類感染症では、アメーバ赤痢、ウイルス性肝炎(E型肝炎及びA型肝炎を除く)、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症、急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)、急性脳炎(ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く)、クリプトスポリジウム症、クロイツフェルト・ヤコブ病、劇症型溶血性レンサ球菌感染症、後天性免疫不全症候群、ジアルジア症、侵襲性インフルエンザ菌感染症、侵襲性髄膜炎菌感染症、侵襲性肺炎球菌感染症、水痘(入院例に限る)、梅毒、播種性クリプトコックス症、破傷風、百日咳、風しん、麻しん、薬剤耐性アシネトバクター感染症の届出があった(表2-1)。

急性脳炎は33人の届出があり、原因とする病原体はインフルエンザウイルスが最も多かった(表2-9)。性別は男性24人、女性9人、年齢階級別では10歳未満の届出が20人で全体の61%と多く(表2-10)、0~79歳の届出があった。

後天性免疫不全症候群は39人の届出があり、病型別では無症候性キャリア23人、AIDS12人、その他4人、性別は男性38人、女性1人であった(表2-11)。年齢階級別では20歳代から40歳代の届出が多く(表2-11)、19~61歳の届出があった。推定感染地域は33人が日本国内、推定感染経路としては同性間性行為感染が多数を占めた。

侵襲性肺炎球菌感染症は134人の届出があった。年齢階級別では70歳以上が67人で全体の50%と多く(表2-12)、0~96歳の届出があった。2013年4月から小児へのワクチン定期接種が開始されたのに続き³⁾、2014年10月からは65歳以上の高齢者へのワクチン定期接種が開始されている⁴⁾。しかし、今回、65歳以上の患者91人のうちワクチン接種歴を確認できたのは9人のみで、接種歴なし32人、不明50人であった。

梅毒は135人の届出があり、病型別では早期顕症梅毒

(I期)43人、早期顕症梅毒(II期)42人、晩期顕症梅毒3人、無症状病原体保有者47人であった(表2-13)。性別は男性85人、女性50人、年齢階級別では男性は20歳代から50歳代、女性は20歳代の届出が多く(表2-13)、16~94歳の届出があった。推定感染経路としては、男女ともに異性間性的接触が多かった(表2-13)。

風しんは2013年の大流行以降最も多い43人の届出があった。年齢階級別では20歳代から40歳代男性と20歳代女性の届出が多く(表2-14)、2~63歳の届出があった。

2. 定点把握疾患(週報)

定点把握疾患(週報)の報告状況について、表3-1、3-2、図1-1~1-15に示した。

インフルエンザの定点における2019年の年間患者報告数は、2018年と同程度であった(表3-1)。定点当たり1週間の患者報告数は、2018年第48週に流行開始の目安となる1.00人を超え⁵⁾、2019年第2週にはシーズン最多の37.63人になった(表3-2)。その後第4週に増加したが全体的には漸減し、第19週には1.00人を下回った。ピークは全国とほぼ同じ時期であった(図1-1)。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、1年を通して報告があり、定点当たり1週間の報告数は全国と比較して多かった。また、学校の休みにあたる第1週(1月)、第14週(4月)、第18週(4~5月)、第33週(8月)に報告数の谷が現れる傾向が認められた(図1-2)。定点における2019年の患者報告数は過去3年と比較して少なかった(表3-1)。

RSウイルス感染症は、2015年までは秋から冬にかけて患者数が増加していたが、2016年以降、流行時期が早まり、全国では秋にピークが現れている。北海道も2016年は夏から増加し、秋にピークが認められたが、2017年以降、流行の傾向が全国と異なっており、2019年は夏から秋にかけて増加し(第27~36週)冬まで高い報告数が続いた(図1-3)。定点における2019年の患者報告数は過去10年で最も多くなった。

ヘルパンギーナは、第35週(8月)の定点当たり患者報告数が最も多く、全国平均よりも5週遅くピークを迎えた。北海道の流行開始時期は全国の平均より遅く(図1-4)、定点における2019年の患者報告数は2018年と同程度であった(表3-1)。

咽頭結膜熱は、例年夏と冬に患者数が増加する傾向がある⁶⁾。2019年は5~7月と11~12月に増加がみられ、2017年、2018年と同様の傾向を示した(図1-5)。定点における2019年の患者報告数は2018年より少なかった(表3-1)。

感染性胃腸炎は、春に流行が認められた。また、全国と比較して患者報告数が少ない傾向が続いている(図1-6)。

手足口病は、近年2年周期で流行が認められており(図1-7)、定点における2019年の患者報告数は、2018年の2倍以上となった(表3-1)。北海道の流行は、全国と比較して1カ月程度の遅れが認められた(図1-7)。

水痘は、冬に増加する傾向があるが、2019年は大きな

表 3-1 定点把握疾患（週報・インフルエンザ・小児科・眼科・基幹） 報告数

定点名	疾患名	2016年	2017年	2018年	2019年
インフルエンザ定点	インフルエンザ	95,976	58,586	90,777	91,523
小児科定点	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	29,502	25,911	26,005	23,777
	R S ウイルス感染症	5,185	6,346	6,795	7,233
	ヘルパンギーナ	7,291	2,868	3,384	3,273
	咽頭結膜熱	3,091	10,469	4,031	3,210
	感染性胃腸炎	21,517	18,276	15,941	18,198
	手足口病	1,632	13,968	7,541	16,603
	水痘	3,958	3,236	2,659	2,470
	伝染性紅斑	3,163	257	441	4,485
	突発性発しん	2,162	2,051	1,894	1,735
眼科定点	流行性耳下腺炎	8,727	1,843	509	350
	急性出血性結膜炎	2	14	20	7
	流行性角結膜炎	529	638	755	682
基幹定点	クラミジア肺炎	7	1	0	5
	マイコプラズマ肺炎	1,288	319	484	737
	感染性胃腸炎（ロタウイルス）	374	213	185	336
	細菌性髄膜炎	12	13	14	14
	無菌性髄膜炎	41	55	15	13
	合計	184,457	145,064	161,450	174,651

流行は認められなかった（図 1-8）。2014 年 10 月 1 日から生後 12~36 月の小児を対象としたワクチンの定期接種が始まり⁴⁾、2015 年以降の患者報告数は全体的に減少している（表 3-1、図 1-8）。

伝染性紅斑は、4~6 年周期で流行を繰り返す傾向がある⁷⁾。2019 年は流行期にあたっており（図 1-9）、定点における 2019 年の患者報告数は、2018 年の 10 倍以上となった（表 3-1）。

突発性発しんは、大きな流行はなかった（図 1-10）。

流行性耳下腺炎は、3~5 年周期で流行を繰り返す傾向があるが⁸⁾、2019 年には大きな流行はなかった（図 1-11）。

急性出血性結膜炎は、前年に引き続き散発的な発生が認められた（図 1-12）。

流行性角結膜炎は、8 月を中心とした夏に多いとされているが⁹⁾、2019 年は春~夏と秋~冬の 2 回、増加する傾向が認められた（図 1-13）。

クラミジア肺炎は、散発的な発生があった（表 3-2）。

マイコプラズマ肺炎は、3~8 年周期で流行を繰り返す傾向があり、日本では秋から冬に多く、初夏にやや増加する年もある¹⁰⁾。2019 年は全国では大きな流行は認められなかったが、北海道は秋から冬に増加する傾向がみられた（図 1-14）。

ロタウイルスによる感染性胃腸炎は、北海道では例年 3 月から 6 月にかけて流行が認められる（図 1-15）。本症については 2011 年に 1 価ワクチン、2012 年に 5 価ワクチンの接種が開始された¹¹⁾。本調査の対象となった 2013 年以降、年間患者報告数は減少していたが、2019 年は第 20 週（5 月）をピークとして春に流行がみられ（図 1-15）、定点における患者報告数は、2018 年の 1.8 倍となった（表 3-1）。

細菌性髄膜炎及び無菌性髄膜炎は、散発的な発生が認められた（表 3-2）。

3. 定点把握疾患（月報）

定点把握疾患（月報）の報告状況について、表 4-1 ~ 4-5 に示した。

ペニシリン耐性肺炎球菌感染症は 19 人、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症は 623 人、薬剤耐性緑膿菌感染症は 4 人の報告があった（表 4-1）。なお、月別の報告数に大きな変動は見られなかった（表 4-2）。

性感染症については、淋菌感染症以外の定点における報告数が前年より増加した（表 4-3）。なお、月別の報告数に大きな変動は見られなかった（表 4-4）。性器クラミジア感染症と性器ヘルペスウイルス感染症については、女性の報告数が多く、尖圭コンジローマと淋菌感染症は男性の報告数が多かった（表 4-5）。年齢別では、性器ヘルペスウイルス感染症の男性を除き 20 歳代の報告が多かった（表 4-5）。

以上、北海道における 2019 年の感染症発生動向について報告した。保健所ごとの詳細なデータについては、当所ホームページ¹²⁾を参照されたい。

本報告を終えるにあたり、感染症発生動向調査にご協力いただいている医療機関ならびに関係機関各位に深謝いたします。

表3-2 定点把握疾患（週報・インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点） 定点当たり週別報告数（2019年）

報告週	インフルエンザ	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	RSウイルス感染症	ヘルパンギーナ	咽頭結膜熱	感染性胃腸炎	手足口病	水痘	伝染性紅斑	突発性発しん	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	クラミジア肺炎	マイコプラズマ肺炎	感染性胃腸炎（ロタウイルス）	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎
1週	33.70	1.14	0.82	0.00	0.20	0.64	0.05	0.32	0.14	0.09	0.00	0.00	0.25	0.00	0.43	0.04	0.00	0.00
2週	37.63	2.95	0.84	0.01	0.27	1.86	0.04	0.51	0.36	0.12	0.06	0.00	0.64	0.00	0.78	0.04	0.04	0.00
3週	33.28	2.69	0.74	0.01	0.22	1.91	0.03	0.27	0.25	0.23	0.04	0.04	0.25	0.00	0.74	0.09	0.00	0.04
4週	36.57	4.66	0.82	0.01	0.31	2.26	0.02	0.34	0.36	0.24	0.04	0.04	0.46	0.00	0.39	0.09	0.00	0.00
5週	35.98	4.85	0.75	0.00	0.31	2.70	0.01	0.26	0.41	0.15	0.04	0.00	0.50	0.00	0.52	0.13	0.00	0.00
6週	25.68	5.47	0.66	0.01	0.33	2.52	0.03	0.24	0.23	0.19	0.04	0.00	0.57	0.00	0.26	0.00	0.00	0.00
7週	15.64	3.86	0.60	0.00	0.27	2.64	0.05	0.14	0.24	0.20	0.04	0.00	0.64	0.00	0.43	0.00	0.00	0.00
8週	10.51	5.01	0.60	0.01	0.29	2.44	0.04	0.23	0.44	0.21	0.04	0.00	0.46	0.04	0.13	0.04	0.00	0.04
9週	8.32	5.17	0.51	0.00	0.21	2.71	0.01	0.25	0.39	0.20	0.03	0.00	0.36	0.00	0.26	0.04	0.00	0.00
10週	6.12	5.56	0.46	0.01	0.34	3.32	0.02	0.21	0.56	0.28	0.06	0.00	0.29	0.00	0.17	0.35	0.00	0.00
11週	4.60	5.46	0.47	0.00	0.21	2.76	0.10	0.20	0.49	0.23	0.08	0.00	0.32	0.00	0.26	0.22	0.04	0.00
12週	3.54	3.98	0.40	0.01	0.29	2.40	0.05	0.30	0.42	0.19	0.04	0.00	0.36	0.00	0.17	0.17	0.04	0.00
13週	2.16	3.57	0.50	0.00	0.40	2.08	0.05	0.29	0.61	0.22	0.09	0.00	0.50	0.04	0.04	0.26	0.00	0.00
14週	1.64	3.21	0.57	0.03	0.28	2.40	0.07	0.40	0.51	0.22	0.06	0.00	0.34	0.00	0.26	0.35	0.04	0.00
15週	1.47	3.94	0.77	0.03	0.29	3.17	0.06	0.26	0.83	0.27	0.08	0.00	0.28	0.04	0.22	0.61	0.00	0.00
16週	2.27	5.12	0.59	0.01	0.41	4.05	0.09	0.30	0.82	0.27	0.07	0.00	0.34	0.00	0.17	0.83	0.04	0.00
17週	1.81	5.00	0.89	0.01	0.46	5.43	0.12	0.29	0.71	0.32	0.02	0.00	0.38	0.00	0.09	0.70	0.00	0.00
18週	1.77	1.26	0.36	0.02	0.30	1.79	0.03	0.28	0.26	0.08	0.00	0.00	0.08	0.00	0.14	0.68	0.00	0.05
19週	0.66	2.59	0.40	0.01	0.71	4.01	0.06	0.46	0.65	0.26	0.04	0.00	0.66	0.00	0.09	1.17	0.04	0.00
20週	1.00	3.94	0.37	0.05	0.55	6.08	0.09	0.27	1.04	0.22	0.04	0.03	0.45	0.00	0.09	1.48	0.04	0.00
21週	0.56	3.62	0.42	0.03	0.93	6.58	0.21	0.48	0.85	0.36	0.06	0.00	0.24	0.00	0.39	1.30	0.00	0.04
22週	0.36	3.54	0.42	0.05	0.86	5.73	0.27	0.29	0.83	0.35	0.06	0.00	0.69	0.00	0.22	1.26	0.04	0.00
23週	0.13	3.27	0.40	0.06	0.83	4.80	0.19	0.53	0.65	0.24	0.05	0.03	0.38	0.00	0.22	1.09	0.00	0.00
24週	0.18	3.47	0.38	0.06	0.86	4.32	0.28	0.32	0.66	0.31	0.10	0.03	0.62	0.00	0.13	0.48	0.00	0.00
25週	0.22	3.32	0.46	0.10	0.86	4.29	0.63	0.54	0.73	0.20	0.08	0.03	0.83	0.00	0.30	0.61	0.04	0.00
26週	0.12	2.96	0.45	0.19	0.81	3.75	1.22	0.54	0.97	0.37	0.07	0.00	0.38	0.00	0.26	0.43	0.00	0.00
27週	0.05	2.76	0.68	0.27	0.82	3.77	1.86	0.38	0.99	0.32	0.04	0.00	0.48	0.00	0.09	0.39	0.00	0.04
28週	0.02	2.72	0.84	0.54	0.98	3.29	3.44	0.33	1.00	0.32	0.07	0.00	0.55	0.00	0.41	0.27	0.00	0.00
29週	0.02	1.85	0.72	0.74	0.53	2.45	4.66	0.26	0.96	0.25	0.07	0.00	0.72	0.00	0.22	0.22	0.00	0.00
30週	0.05	1.93	0.98	1.30	0.53	2.08	8.45	0.21	0.86	0.44	0.12	0.00	0.52	0.00	0.30	0.22	0.00	0.00
31週	0.04	1.43	0.96	2.24	0.41	1.66	13.86	0.16	0.80	0.23	0.07	0.00	0.79	0.04	0.48	0.17	0.00	0.00
32週	0.03	1.15	1.09	2.73	0.43	1.48	14.82	0.12	0.63	0.31	0.02	0.00	0.48	0.00	0.39	0.00	0.00	0.00
33週	0.03	0.75	1.10	1.98	0.19	0.85	8.13	0.11	0.37	0.19	0.01	0.00	0.24	0.00	0.65	0.04	0.00	0.04
34週	0.00	1.29	0.96	1.95	0.31	1.19	8.61	0.21	0.52	0.25	0.07	0.00	0.38	0.00	0.48	0.04	0.04	0.04
35週	0.02	1.73	1.84	2.82	0.21	1.12	10.44	0.09	0.48	0.26	0.04	0.00	0.31	0.00	0.57	0.04	0.04	0.04
36週	0.01	1.70	1.95	2.22	0.20	1.25	9.83	0.36	0.63	0.26	0.06	0.00	0.59	0.00	1.22	0.00	0.04	0.00
37週	0.13	1.76	1.78	1.91	0.19	1.41	7.67	0.14	0.51	0.30	0.03	0.00	0.55	0.00	0.78	0.00	0.00	0.00
38週	0.12	1.75	1.67	1.10	0.22	1.01	5.12	0.16	0.22	0.25	0.06	0.00	0.17	0.00	0.83	0.00	0.00	0.00
39週	0.19	1.57	1.28	0.69	0.19	1.01	3.47	0.13	0.41	0.15	0.04	0.00	0.24	0.00	0.61	0.00	0.00	0.00
40週	0.64	1.99	1.38	0.51	0.25	1.52	2.89	0.28	0.42	0.21	0.04	0.00	0.41	0.00	0.91	0.13	0.00	0.00
41週	0.79	2.09	1.72	0.41	0.14	1.08	2.98	0.24	0.53	0.33	0.07	0.00	0.34	0.00	1.52	0.04	0.00	0.04
42週	1.17	1.96	1.59	0.34	0.25	1.18	2.54	0.30	0.48	0.27	0.03	0.00	0.17	0.00	0.70	0.04	0.00	0.09
43週	1.77	2.37	1.45	0.28	0.28	1.02	1.58	0.41	0.47	0.21	0.04	0.00	0.21	0.04	1.70	0.04	0.00	0.00
44週	1.81	3.01	1.66	0.26	0.34	1.66	1.48	0.45	0.83	0.28	0.03	0.00	0.28	0.00	2.04	0.04	0.00	0.00
45週	2.00	2.80	1.35	0.20	0.33	1.50	1.15	0.48	0.55	0.24	0.05	0.00	0.59	0.00	1.83	0.00	0.00	0.00
46週	4.66	3.72	1.50	0.12	0.49	2.08	0.93	0.49	0.74	0.27	0.04	0.00	0.86	0.00	1.57	0.00	0.00	0.00
47週	10.15	4.15	1.67	0.06	0.72	1.65	0.88	0.55	0.68	0.20	0.05	0.00	0.55	0.00	2.17	0.09	0.00	0.04
48週	17.63	4.63	1.64	0.13	0.77	2.26	0.81	0.70	0.70	0.16	0.02	0.00	0.69	0.00	1.09	0.13	0.00	0.00
49週	25.21	6.06	1.93	0.09	0.74	1.93	0.58	0.66	0.98	0.26	0.01	0.00	0.72	0.00	1.78	0.09	0.00	0.00
50週	29.77	5.52	2.10	0.05	0.61	1.68	0.33	0.73	0.93	0.25	0.04	0.03	0.48	0.00	1.48	0.04	0.04	0.00
51週	26.28	5.67	2.12	0.10	0.56	2.31	0.22	0.64	1.20	0.14	0.01	0.00	0.45	0.00	0.70	0.09	0.00	0.04
52週	25.05	5.70	1.87	0.03	0.72	2.39	0.11	0.75	1.16	0.17	0.04	0.00	0.66	0.00	0.39	0.04	0.04	0.00
年平均	7.97	3.31	1.01	0.46	0.45	2.54	2.31	0.34	0.63	0.24	0.05	0.00	0.46	0.00	0.62	0.28	0.01	0.01

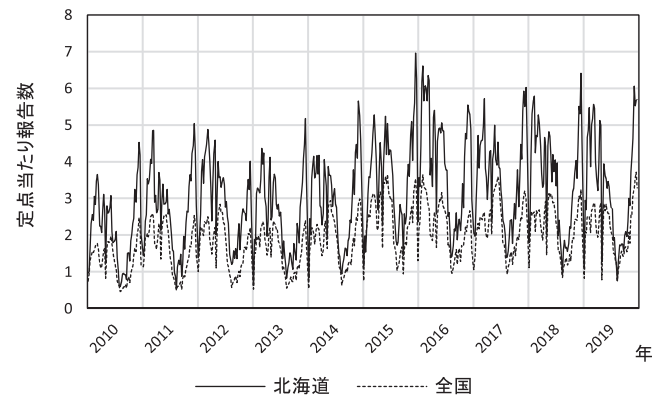
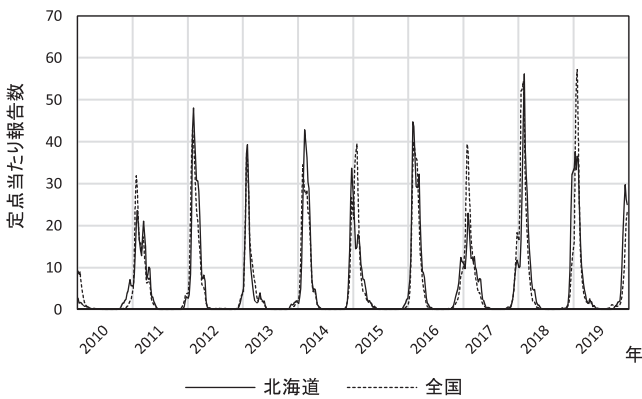
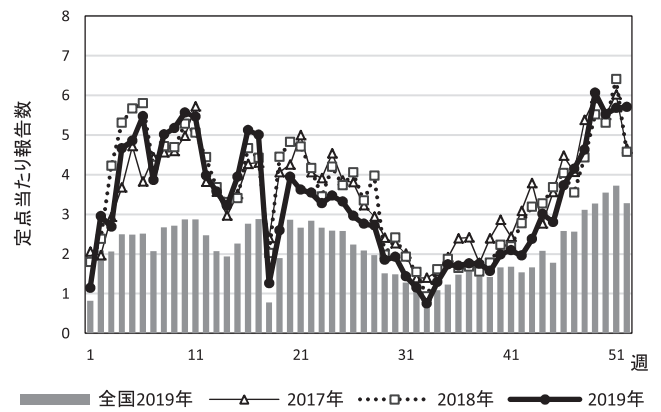
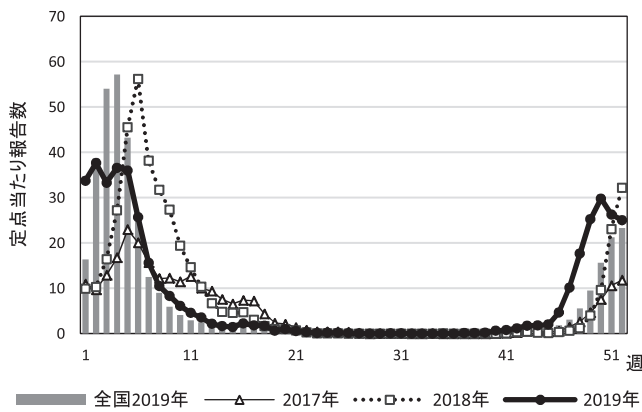


図1-1 インフルエンザ定点点当り報告数

図1-2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎定点点当り報告数

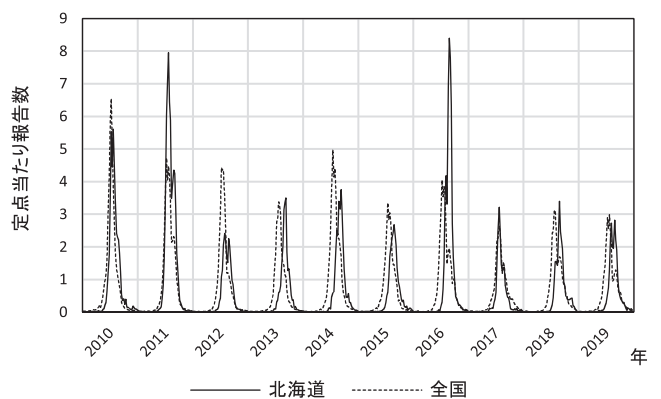
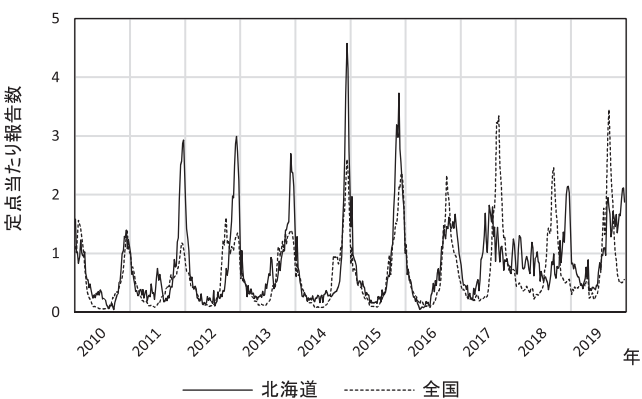
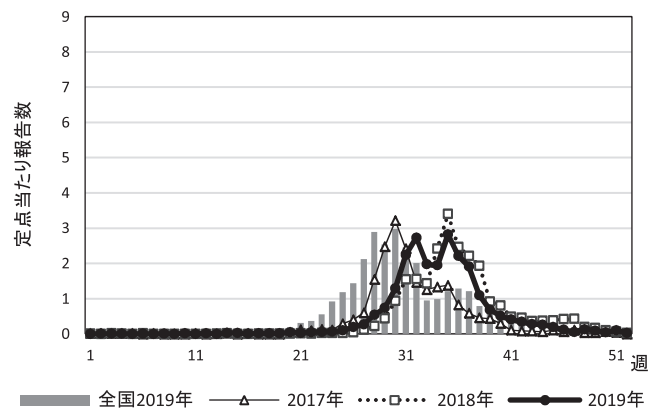
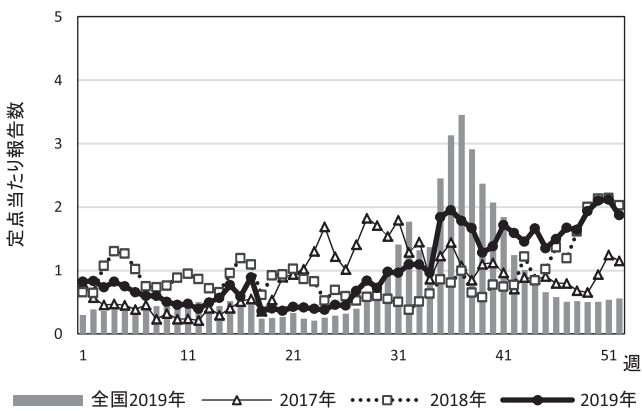


図1-3 RSウイルス感染症定点点当り報告数

図1-4 ヘルパンギーナ定点点当り報告数

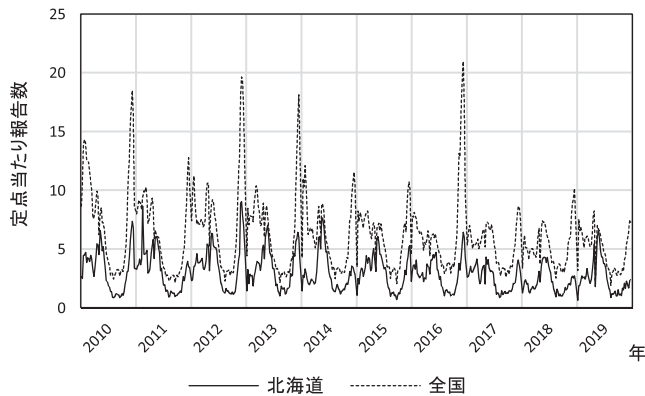
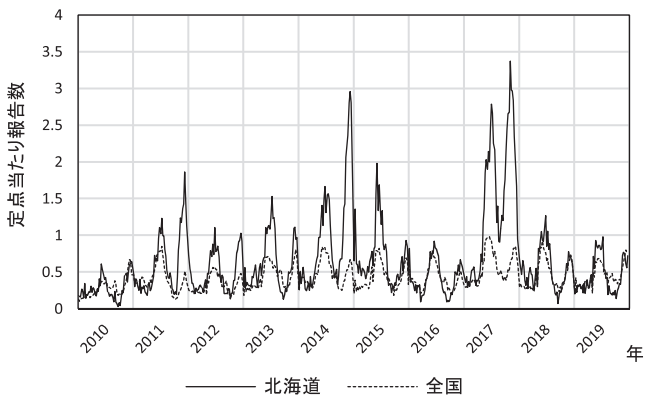
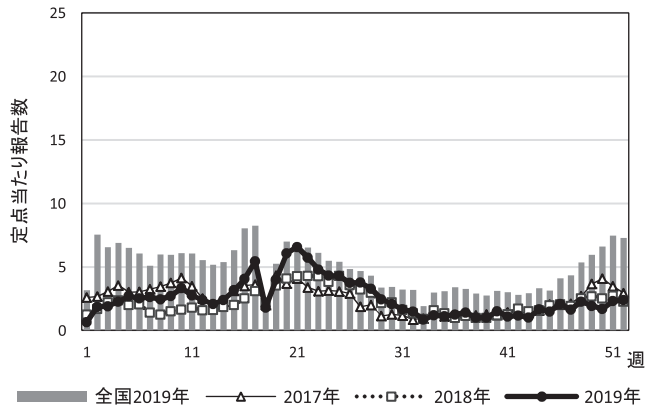
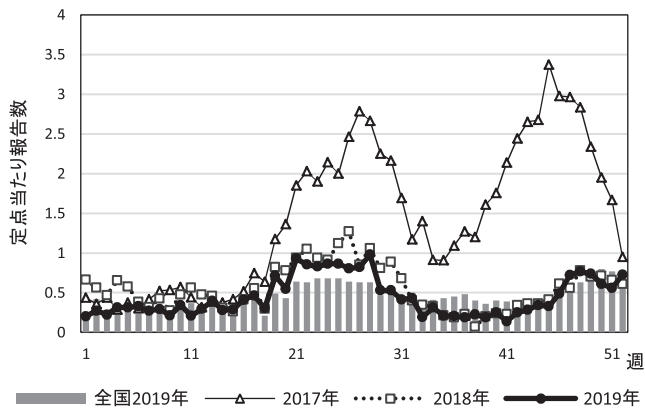


図1-5 咽頭結膜熱定点当たり報告数

図1-6 感染性胃腸炎定点当たり報告数

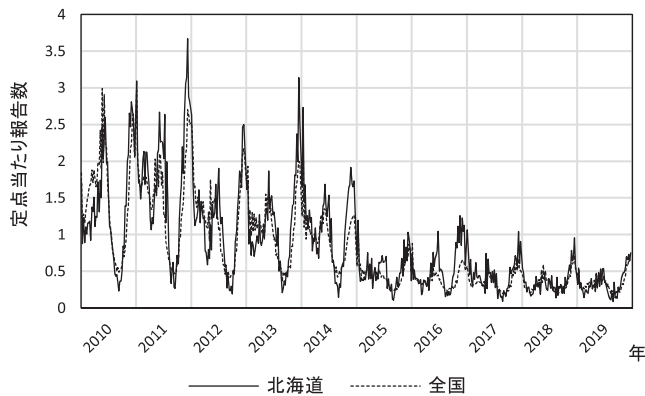
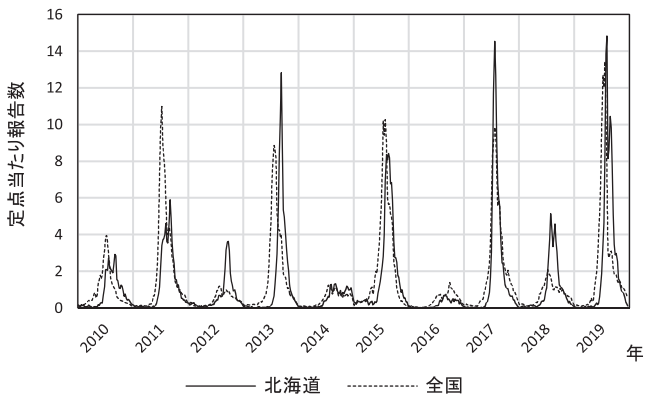
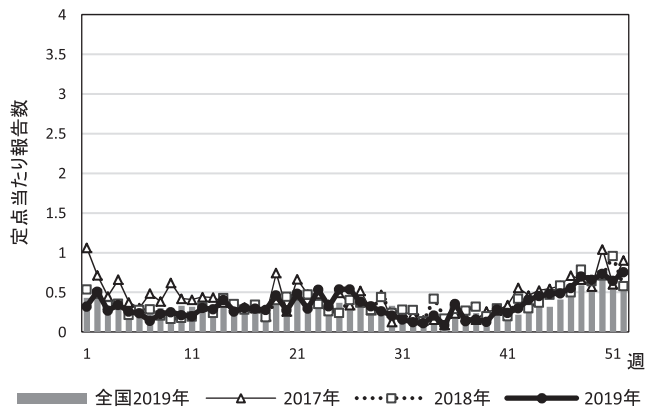
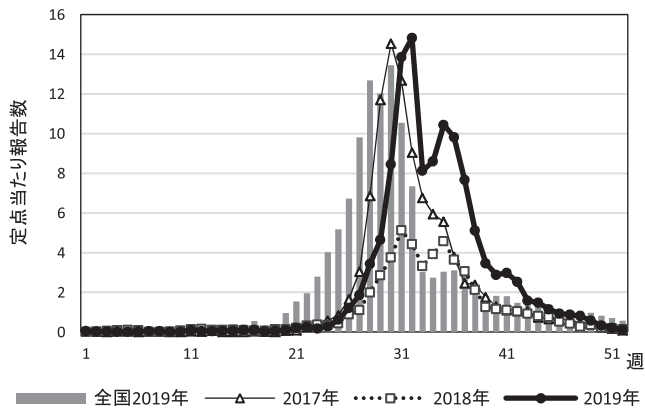


図1-7 手足口病定点当たり報告数

図1-8 水痘定点当たり報告数

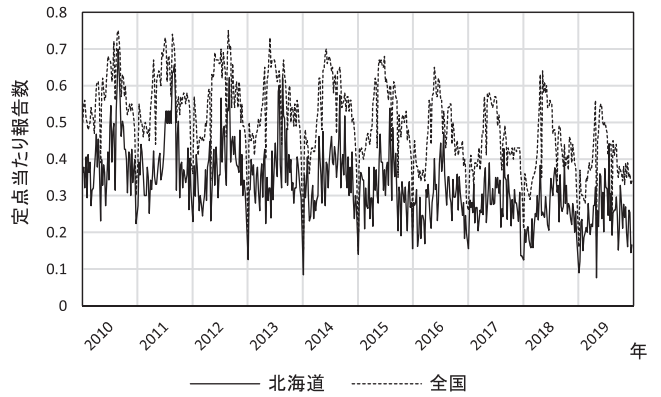
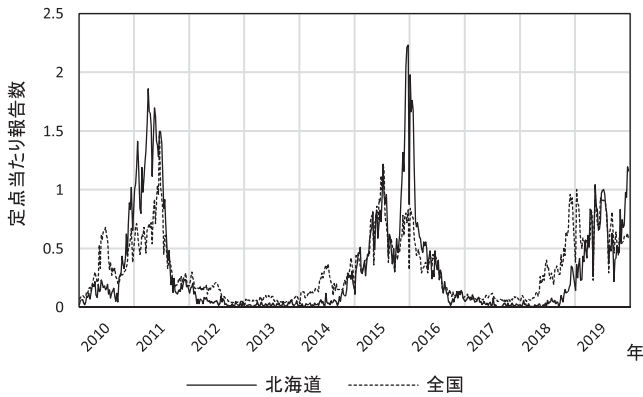
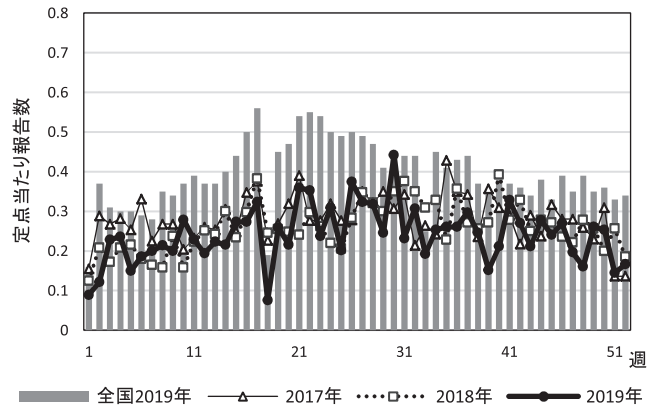
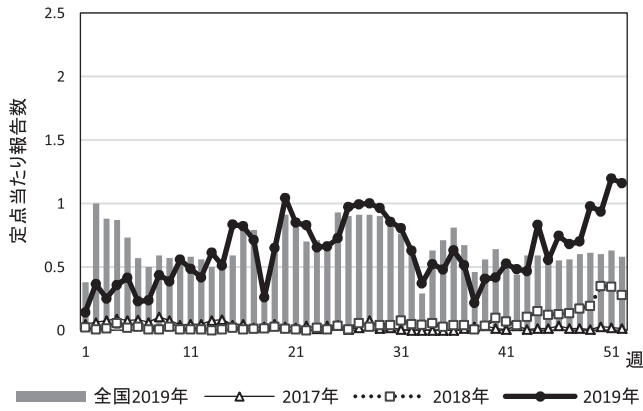


図1-9 伝染性紅斑定点当たり報告数

図1-10 伝染性紅斑定点当たり報告数

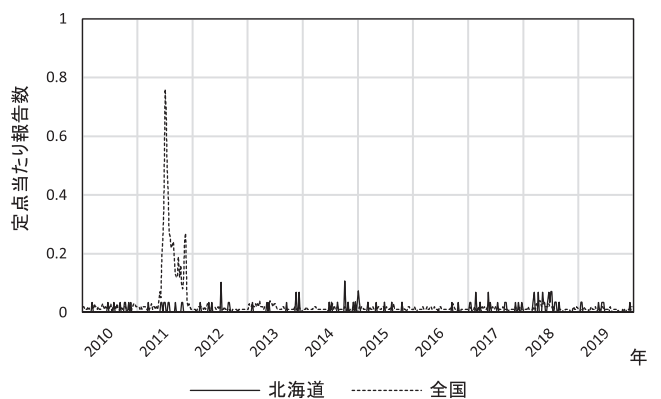
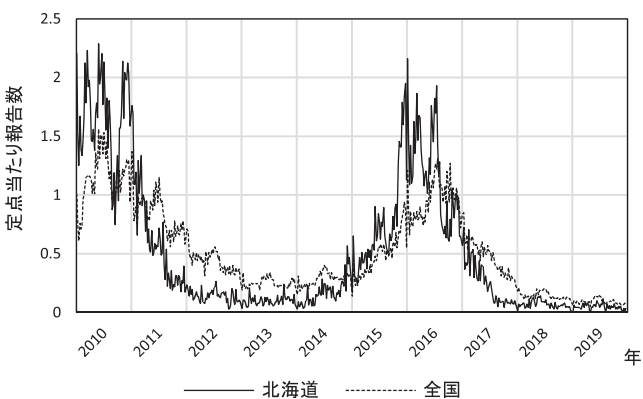
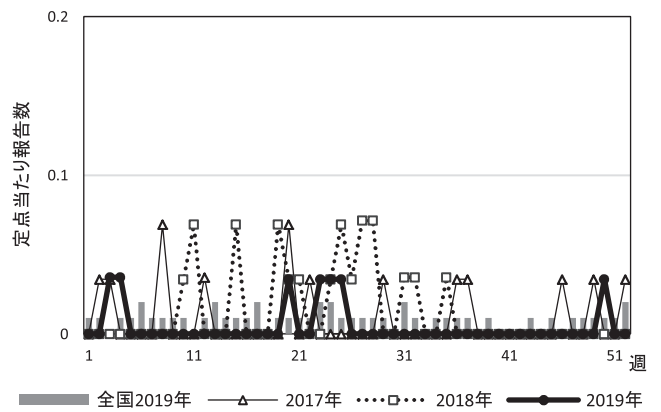
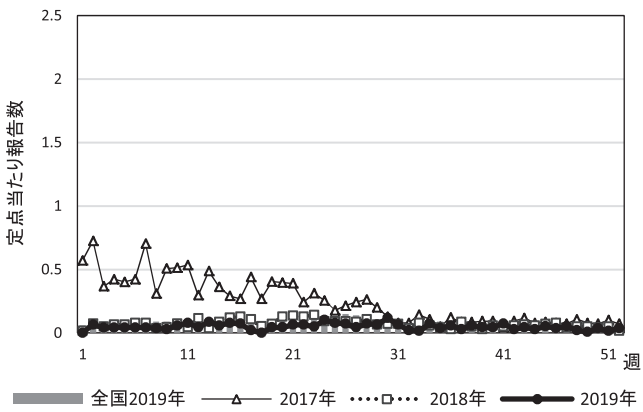


図1-11 流行性耳下腺炎定点当たり報告数

図1-12 急性出血性結膜炎定点当たり報告数

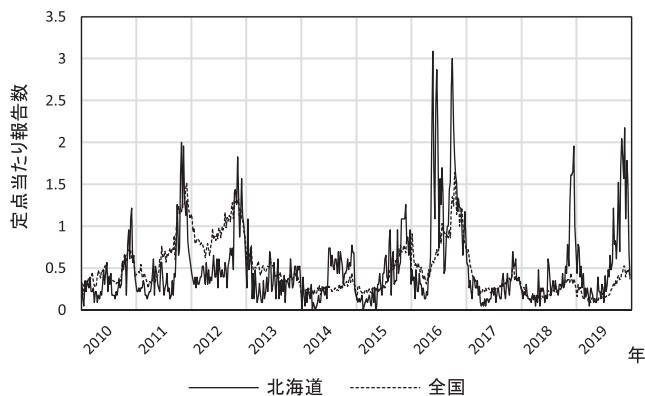
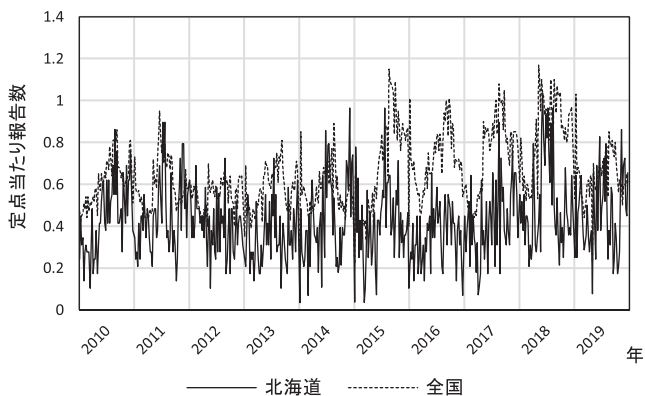
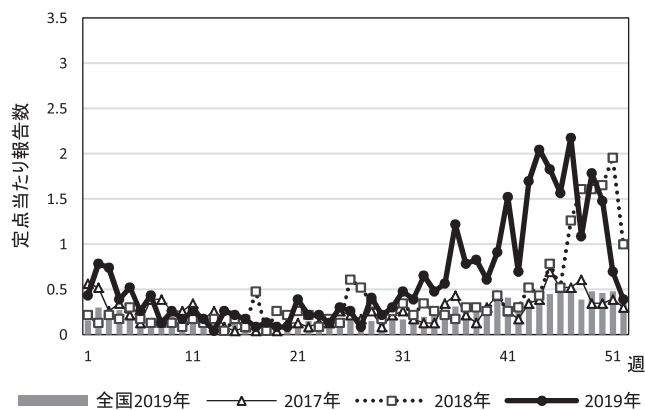
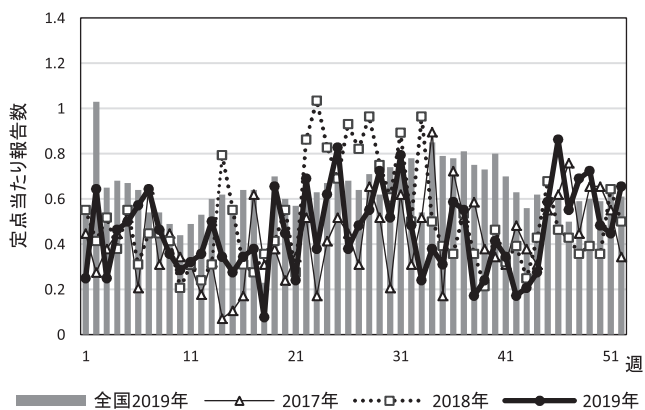


図1-13 流行性角結膜炎定点当たり報告数

図1-14 マイコプラズマ肺炎定点当たり報告数

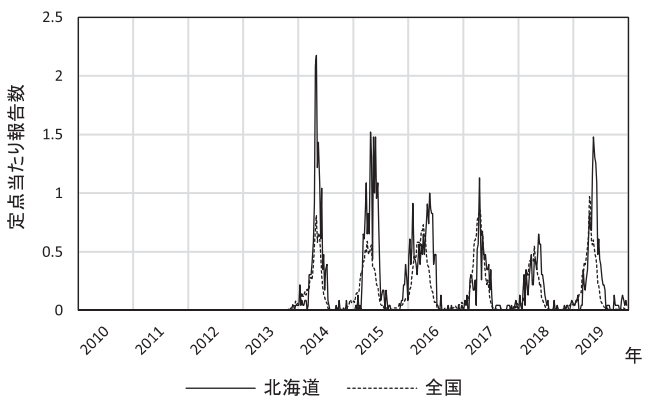
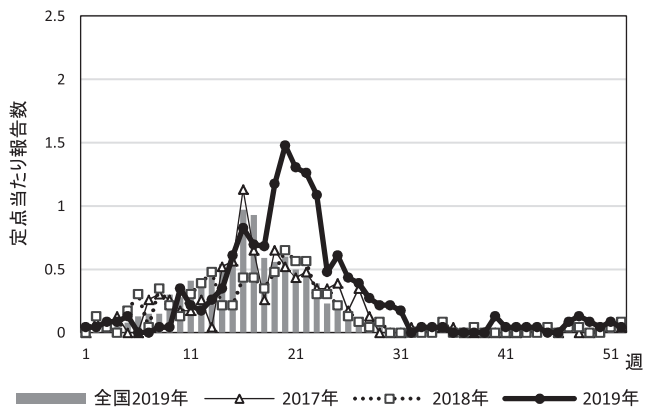


図1-15 感染性胃腸炎（ロタ）* 定点当たり報告数

*：2013年10月14日から五類（定点把握対象）に追加指定

表4-1 定点把握疾患（月報・基幹定点） 報告数

定点名	疾患名	2016年	2017年	2018年	2019年
基幹定点	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	10	14	18	19
	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	580	625	569	623
	薬剤耐性緑膿菌感染症	1	0	3	4

表4-2 定点把握疾患（月報・基幹定点） 月別報告数（2019年）

疾患名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
報告数												
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	2	1	1		2	1	1	5		1	2	3
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	73	49	53	55	54	62	54	47	35	54	49	38
薬剤耐性緑膿菌感染症					1	1	1			1		
定点 当たり												
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	0.09	0.04	0.04	0.00	0.09	0.04	0.04	0.22	0.00	0.04	0.09	0.13
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	3.17	2.13	2.30	2.39	2.35	2.70	2.35	2.04	1.52	2.35	2.13	1.65
薬剤耐性緑膿菌感染症	0.00	0.00	0.00	0.00	0.04	0.04	0.04	0.00	0.00	0.04	0.00	0.00

表4-3 定点把握疾患（月報・性感染症定点） 報告数

定点名	疾患名	2016年	2017年	2018年	2019年
性感染症定点	性器クラミジア感染症	1,745	1,881	1,985	2,045
	性器ヘルペスウイルス感染症	547	540	541	619
	尖圭コンジローマ	187	238	264	271
	淋菌感染症	386	428	567	527

表4-4 定点把握疾患（月報・性感染症定点） 月別報告数（2019年）

疾患名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
報告数												
性器クラミジア感染症	173	135	192	168	154	191	193	160	156	183	178	162
性器ヘルペスウイルス感染症	52	56	49	53	50	56	62	44	50	49	55	43
尖圭コンジローマ	12	18	22	20	24	25	30	24	28	20	25	23
淋菌感染症	40	35	57	50	38	36	43	45	35	41	53	54
定点 当たり												
性器クラミジア感染症	4.12	3.21	4.57	4.00	3.67	4.55	4.60	3.81	3.71	4.36	4.24	3.86
性器ヘルペスウイルス感染症	1.24	1.33	1.17	1.26	1.19	1.33	1.48	1.05	1.19	1.17	1.31	1.02
尖圭コンジローマ	0.29	0.43	0.52	0.48	0.57	0.60	0.71	0.57	0.67	0.48	0.60	0.55
淋菌感染症	0.95	0.83	1.36	1.19	0.90	0.86	1.02	1.07	0.83	0.98	1.26	1.29

表4-5 定点把握疾患（月報・性感染症） 年齢階級別報告数（2019年）

年齢階級	性器クラミジア 感染症			性器ヘルペス ウイルス感染症			尖圭コンジローマ			淋菌感染症		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
0歳												
1～9歳				1	1							
10～19歳	39	173	212	3	14	17	6	6	12	23	35	58
20～29歳	327	882	1,209	39	142	181	44	63	107	141	127	268
30～39歳	160	265	425	48	103	151	39	33	72	65	37	102
40～49歳	68	77	145	45	84	129	36	14	50	50	21	71
50～59歳	31	11	42	22	44	66	19	3	22	19	4	23
60～69歳	8	3	11	10	27	37	6		6	2	1	3
70歳以上	1		1	12	25	37	1	1	2	2		2
合計	634	1,411	2,045	179	440	619	151	120	271	302	225	527
男女比	1.00	2.23	2.23	1.00	2.46		1.00	0.79		1.00	0.75	

文 献

- 1) 厚生労働省ホームページ：感染症法に基づく医師の届出のお願い，感染症発生動向調査事業実施要綱，https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/kekkaku-kansenshou/kekkaku-kansenshou_11/01.html（確認：2020年6月25日）
- 2) 中野道晴，市橋大山，長野秀樹，扇谷陽子，宮田 淳，岡野素彦：地方感染症情報センターにおける患者情報集計，解析業務を支援する情報ツール．北海道公衆衛生学雑誌，28(2)，147-150（2014）
- 3) 厚生労働省健康局長通知健発 0330 第1号「予防接種法の一部を改正する法律の施行等について」，平成25年3月30日
- 4) 厚生労働省健康局長通知健発 0716 第24号「予防接種法施行令の一部を改正する政令並びに予防接種法施行規則及び予防接種実施規則の一部を改正する省令の施行について」，平成26年7月16日
- 5) 市橋大山，後藤明子，大久保和洋，駒込理佳，長野秀樹：北海道における感染症発生動向調査について（2018年）．道衛研所報，69，101-114（2019）
- 6) 国立感染症研究所感染症疫学センターホームページ：咽頭結膜熱とは，<https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/323-pcf-intro.html>（確認：2020年6月25日）
- 7) 国立感染症研究所感染症疫学センターホームページ：伝染性紅斑とは，<https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/443-5th-disease.html>（確認：2020年6月25日）
- 8) 国立感染症研究所感染症疫学センターホームページ：流行性耳下腺炎（ムンプス，おたふくかぜ），<https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/529-mumps.html>（確認：2020年6月25日）
- 9) 国立感染症研究所感染症疫学センターホームページ：流行性角結膜炎とは，<https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/528-ekc.html>（確認：2020年6月25日）
- 10) 国立感染症研究所感染症疫学センター：＜特集＞マイコプラズマ肺炎 2012年9月現在．病原微生物検出情報，33(10)，261-262（2012）
- 11) 国立感染症研究所感染症疫学センター：＜特集＞ロタウイルス 2010～2013年．病原微生物検出情報，35(3)，63-64（2014）
- 12) 北海道立衛生研究所ホームページ：北海道感染症情報センター，<http://www.iph.pref.hokkaido.jp/kansen/index.html>（確認：2020年6月25日）